

筒井夫妻



夫の英雄さんは、子どもたちが学校・地域で安全に生活できるように下校時等に子どもたちに付き添い、見守っていく「梅園学区見守り隊」の隊員になって活動をしていました。また、日本の封建的家父長制に疑問を持ったため、岡崎市男女共同参画推進サポーター「すいか隊」のメンバーに入り、男女共同参画社会の実現に向けて活動もしていました。

妻の寿美枝さんは、今まで男性ばかりがやっていた総代をやり、狭かった道路の幅を改善したり、街灯を設置し夜道を明るくするなど、住民の生活環境の改善に努めました。

夫婦の間では夜ご飯の支度は妻、洗濯は夫などとお互いの仕事をきっちり分担し、それ以外は干渉し合わず自由に過ごすことで家庭での男女共同参画を実行していたそうです。

これからも夫婦2人で、どんなことも乗り越えていきたいと語ります。